

## 第3回 スポーツフォーラム 21 The Baseball メインテーマ：「投球時痛」－どう捉え、どうアプローチするか－

日時：2003年1月12日（日）

会場：横浜港大さん橋ホール

2003年1月12日（日）

### セッション1 肩・肘の機能解剖と主な肘関節疾患の診断・治療 10：00～12：00

司会：筒井廣明（昭和大学藤が丘リハビリテーション病院）

#### 1 肩・肘の機能解剖と主な肘関節疾患の診断・治療

三原研一 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 整形外科 講師

#### 2 主な肩関節疾患の診断・治療

鈴木一秀 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 整形外科 助手

討議「選手・現場が整形外科医の行う診断・治療に関して知りたいこと」

### 昼食

12：00～13：00

### セッション2 機器・薬の特徴と使い方 13：00～15：00

司会：山口光國（昭和大学藤が丘リハビリテーション病院）

#### 1 治療を通して障害を予防するためのアドバイス

千葉慎一 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法士

#### 2 学生トレーナーとしての現実

（選手への啓蒙、指導者との係わり合い、自分でできたことできたこと）

土橋恵秀 早稲田大学 学生トレーナー

#### 3 これまでの選手としての経験を通し、予防できた痛みと予防不可能であった痛み。

疼痛を感じたときどのように対応したか？

竹間容祐 日本生命野球部、社会人野球平成14年ベストナイン

#### 4 トレーナー側から考える疼痛とトレーニング指導者側として考える疼痛。

日米の違いを含めて。

本屋敷俊介 阪神タイガーストレーナー

討議「投球時痛の予防・対応をどう考えるか」

### 休憩

15：00～15：15

### セッション3 選手を育成するために私はこうしている。 15：15～17：00

司会：栗山英樹（野球解説者、元ヤクルトスワローズ選手）

#### 1 野球選手として技術、心理、身体の向上を図り、試合に勝つためには、怪我は止むを得ないのか。

土屋恵三郎 桐蔭学園硬式野球部監督・部長

#### 2 選手起用の配慮。

選手・指導者、両面の立場から理想と現実の問題点

阿井英二郎 元プロ野球選手、現つくば秀英高校硬式野球部監督

#### 3 「勝つためのフォームは体に悪いのか」

牛島和彦 TBS解説者、元千葉ロッテマリーンズ投手

小宮山悟 プロ野球選手

山口光國 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法士

討議「選手は何を考え、技術指導者は何を教え、身体管理者は何をすればよいのか」